

一般財団法人 休暇村協会

2019年度 安全重点施策(船舶)

協会が定める「安全基本方針」に基づき、「お客様の死傷事故ゼロ」「海難事故ゼロ」を安全目標とし、2019年度は下記の5つの安全重点施策に取り組む。

また、「運行管理体制」、「安全運航」、「教育訓練その他」への取り組み状況について、「安全一斉点検チェックシート」により毎月点検し、改善事項や進捗状況を含め、取り組み内容の達成状況を把握する。

<乗船客への対応>

① 乗船客の利用層に応じた安全重点目標をシーズン毎に策定し、目標達成に向けた取り組みを実施する。

② 着舷時の揺れによる事故を防止するため、着舷前のマイク放送によるアナウンスや見張り、誘導を徹底し、降船時の安全を確保する。

また、海外からの来島者への安全対策として自動翻訳機を船内に装備する。

<日常業務のマナー化の防止>

③ 綱取りや誘導時のホイッスルと指差し呼称を徹底し、衝突事故を防止する。

④ 夜間は忠海港湾進入前に一旦停止し安全確認を実施する。また、港湾内徐行を徹底し、衝突事故を防止する。

⑤ 気象や海象等の影響で大久野島棧橋への着船が困難な場合は、無理をせず、着船の中止、安全な場所での一時待機、棧橋の着船場所もしくは棧橋の変更を行い、事故を防止する。

2019年4月1日
一般財団法人 休暇村協会
理事長 河本 利夫